

分析法凡例 GC (Gas Chromatograph) : ガスクロマトグラフ
 ECD (Electron Capture Detector) : 電子捕獲型検出器
 FID (Flame Ionization Detector) : 水素炎イオン化検出器

(※)濃度基準値が定まっていない場合には、ACGIH等で設定されているOELのうち最小のものを利用して検討を行う。濃度基準値が定まり、当該濃度基準値が検討に用いたOELと異なる場合には採用された測定法が当該濃度基準値に対しても適用可能か検証する。

No.	CAS RN	物質名称 黄色：分析方法がGC	①測定範囲 濃度基準値(※) の1/10及び2倍 が測定範囲に 入っていれば ○、不明確なら ば△、データな しならばND	②抽出/脱着率 または回収率 値が75%以上な らば○ 75%未満ならば △ データなしなら ばND	③保存安定性 値が90%以上な らば○ 90%未満ならば △ 50%程度ならば ×データなしな らばND	④破過 ○は濃度基準値 (※)の2倍で破過 の可能性なし △は濃度基準値 (※)の2倍で破過 の可能性あり データがなければ ND	測定方法	捕集法	溶解法	分析法	測定法の総合評価 ○:OK(備考ありを含む) △:要確認(備考参照) P:検証や他の方法の探索が必要	総合評価の実用上の判断 ○ or P (○物質のみ表示)	備考
1	44 108-70-3	1,3,5-トリクロロベンゼン	○	○	○	○	固体捕集-GC	XAD-2捕集管 (150/75 mg) 0.15 L/min 240min	トルエン 10 mL	GC/ECD	○	○	
以下令和4～6年度の検討対象物質													
2	R4_44 100-74-3	エチルモルホリン	○	○	○	○	固体捕集-GC	球状活性炭管 0.5 L/min 240 min	ジクロロメタン/メタノール 95/5 2 mL	GC/FID	○	○	
3	R5_73 108-87-2	メチルシクロヘキサン	○	○	○	○	固体捕集-GC	球状活性炭管 0.5 L/min 240 min	二硫化炭素 1 mL	GC/FID	○	○	
4	R6_26 80-56-8	2,6,6-トリメチルピシクロ[3.1.1]ヘプタ-2-エン (別名: α-ピネン)	○	○	ND	○	固体捕集-GC	球状活性炭管 0.1-0.2 L/min 120 min	二硫化炭素 1 mL	GC/FID	△	○	・捕集後、できるだけ速やかに分析する。
5	R6_39 102-81-8	2-(ジ-n-ブチルアミノ)エタノール	○	△	ND	○	固体捕集-GC	シリカゲル管 0.01-0.2 L/min 120 min	メタノール/水 4/1 2 mL	GC/FID	△	○	・脱着率は、濃度基準値の0.3倍で75%以上の結果が確認されている。 ・捕集後、できるだけ速やかに分析する。 ・メタノール/水 (4/1) で脱着後、0.2N NaOHを加えpH>9にした後、バックドカラムで分析する。キャピラリーカラムでは、カラムへの負担が大きく、分析できない可能性がある。
6	R6_128 5989-27-5	(4R)-パラ-メンタ-1,8-ジエン (別名: d-リモネン)	○	△	ND	○	固体捕集-GC	球状活性炭管 0.1-0.2 L/min 120 min	二硫化炭素 1 mL	GC/FID	△	○	・脱着率は、濃度基準値の0.2倍で75%以上の結果が確認されている。 ・捕集後、できるだけ速やかに分析する。